

事業シート(令和2年度予算)

事業名	41500 生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	保健衛生費		根拠計画			
			目	5	生活環境費					
担当課	生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な生活環境を確保する。 公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査を随時実施する。 騒音の定期観測調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	3,980	3,232	4,030			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金、公害委任事務費)	290	336	294			
その他()						
一般財源	3,690	2,896	3,736			
個票枝番	主な事業内容					
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	600	541	600		
	河川水質の定期調査	1,100	1,054	1,150		
	公害防止のための悪臭水質立入調査	770	306	770		
	土壌中放射性物質調査	700	739	700		
	快適環境づくり市民会議	480	278	480		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		3,485
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,116	3,485	3,485	△ 545	
340	284	284	△ 10	
3,776	3,201	3,201	△ 535	
査定額	説明			
560				
1,100				
500				
710				
320				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(42事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。 高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)
評価等	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
				項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画	
				目	2	塵芥処理費					
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	478g		462g
「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	86.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	296,928	295,604	331,680			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(手数料・諸収入)	20,190	20,964	20,190			
一般財源	276,738	274,640	311,490			
個票枝番	主な事業内容					
	ごみ収集運搬業務	278,687	278,064	312,880		
	ごみ収集パトロール	3,691	3,690	3,700		
	無料可燃ごみ処理券回収報奨金	2,400	2,399	2,400		
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	9,950	9,761	10,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		330,520
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
327,218	330,520	330,520	△ 1,160	
20,430	20,690	20,690	500	
306,788	309,830	309,830	△ 1,660	
査定額	説明			
315,520				
2,400				
10,400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,000冊作成、広報12回掲載) ごみ処理券回収奨励金を交付した。(62件、325,073枚回収) 市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数253日) ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時) 不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ59日、通報等による出動21件) 市内スーパー5店で、ごみ減量啓発(水切り袋とチラシ配布)を行った。(約1,800人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ中のプラスチック製容器包装等の資源ごみの混入及び食品ロスを低減するため、ごみの減量化対策を強化する必要がある。 違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化に向けた具体的な対策(特にプラスチック製品及び食品ロスの削減)を検討する。 委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 広報等によりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。	
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築			
				項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画			
				目	2	塵芥処理費							
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	2960									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総会計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	390,045	384,851	680,836			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料・手数料等)	91,720	97,444	93,720			
一般財源	298,325	287,407	587,116			
個票枝番	主な事業内容					
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	265,000	263,621	450,000		
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	42,000	42,660	76,400		
	ごみ焼却施設の管理運営	83,045	78,570	81,436		
	資源リサイクルセンター廃棄物(木くず等)処理委託			70,000		
	久々野クリーンセンター廃棄物(焼却灰等)処理委託			3,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		733,387
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
817,575	733,387	733,387	52,551	
91,685	95,620	95,620	1,900	
725,890	637,767	637,767	50,651	
査定額	説明			
494,000	計画に基づく延命化措置			
74,000	計画に基づく延命化措置			
88,387				
70,000				
7,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 341日間 久々野クリーンセンター焼却日数 155日間 設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 老朽化している2つの焼却施設の延命化対策を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 延命化計画に従い、2つの焼却施設の延命化及び性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。 可燃性粗大ごみ及び焼却灰を適正に処理する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	42215	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
				項	2	清掃費		環境基本計画、ごみ処理基本計画				
				目	2	塵芥処理費		根拠計画				
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・広く住民の理解を得てごみ処理施設建設を進めるため、必要な調査等を行う。
----	---------------------	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		39,432	35,571	21,300			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		39,432	35,571	21,300			
個票枝番	主な事業内容						
	事務費	39,432	35,571	21,300			

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		700
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
69,349	700	700	△ 20,600	
69,349	700	700	△ 20,600	
査定額	説明			
700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設周辺の環境調査を実施した。 建設候補地周辺住民に対する説明会・勉強会を実施した。 ごみ処理の現状について、広報による周知を行った。
評価等	・H30～H31にかけて環境調査を実施し、結果に基づき環境影響分析を行う。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 環境調査を継続して実施後、環境影響分析を行う。 建設候補地周辺住民への説明を継続して実施する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
				項	2	清掃費		環境基本計画、ごみ処理基本計画			
				目	2	塵芥処理費		環境基本計画、ごみ処理基本計画			
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960		根拠計画					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		47,260	44,361	48,580			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料・手数料等)	26,612	27,603	26,612			
一般財源		20,648	16,758	21,968			
個票枝番	主な事業内容						
	埋立処分地の管理運営	45,260	42,935	46,580			
	埋立処分地跡地活用に向けた調査等	2,000	1,426	2,000			

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		57,370
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
79,926	54,370	54,370	5,790	
26,233	27,212	27,212	600	
53,693	27,158	27,158	5,190	
査定額	説明			
51,370				
3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(308日) 設備の点検整備及びひたひたオキシソル濃度等の調査を実施した。 第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査(安定化調査等)を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分地を実施した。 近年、空家整理やリフォームの増加による粗大ごみの搬入が増加しており、焼却処理が追いつかず埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。 可燃性粗大ごみの適正処理を実施する。 埋立処分地の延命化対策を検討する。 第1次埋立処分地の有効活用に向けた調査を継続し、今後の方針を検討する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	2	清掃費	根拠計画	環境基本計画、ごみ処理基本計画			
			目	2	塵芥処理費					
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。 資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。 粗大ごみ等のリフォーム及びリフォーム製品フェアを開催する。 ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
家庭系ごみの資源化率	28%		30%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		167,429	155,912	168,288		
特定財源	国費 (災害等廃棄物処理事業費国庫補助金)	0	3,170			
	県費 (産業廃棄物立入検査事業費)	10	0	10		
	その他(物品売払収入等)	12,400	27,775	12,400		
一般財源		155,019	124,967	155,878		
個票枝番	主な事業内容					
	資源回収団体奨励金	11,000	7,165	10,000		
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	14,578	14,371	14,088		
	廃棄物資源化の委託	136,951	130,726	139,300		
	不用品リフォーム	3,900	3,297	3,900		
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	1,000	353	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		187,543
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
205,148	187,543	187,543	19,255	
2	10	10	0	
12,977	12,600	12,600	200	
192,169	174,933	174,933	19,055	
査定額	説明			
8,000				
15,243				
159,700				
3,900				
700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を19件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。 リフォーム製品フェアを21回(支所開催含む)開催し、316個を販売した。 小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(272t) 資源回収事業での奨励金を80団体に交付した。 収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(52日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されているが、災害ごみの受け入れにより資源化率が減少した。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。 生ごみ堆肥化装置の設置促進のため、H29年度からの補助対象者の見直しを行った結果、対象者が増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 プラスチック製容器包装や紙製容器包装の分別徹底を周知する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに